福島		等専門学	校 開講年	度 平成30年度((2018年度)	授業科目	産業安全工		
科目基础	礎情報								
科目番号 0019					科目区分	4目区分 専門 / 必修			
		講義・	演習		単位の種別と単	単位の種別と単位数 学修単位:			
開設学科		産業技	術システム工学専	攻(共通専門科目)	対象学年	対象学年 専2			
開設期		後期	後期			週時間数 2			
教科書/教	树	配布資	己布資料						
旦当教員		實川資	資朗,大槻 正伸,原E	田 正光,霜田 宜久,芥川	一則				
到達目	標								
①現場で ②システ	の作業によ ム安全工学	って引き起 全(FTA, FI	こされる被害を1 MEAなど)を理解	(メージできリスクマ ^ス し、実践できる。	ネジメントが行える	00			
ルーブ	リック								
			理想的な到達	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目	1		各授業項目(できる。	の内容を理解し、応用	各授業項目の内	各授業項目の内容を理解している 名授業項目の内容を理解している。			
学科の	到達目標	項目との	関係						
	_ 法等								
各工業分野で、現場における事故・災害の 概要 た、労働安全、労働災害統計等、安全工学 るようにする。					L対策および発生時 基本的な事項を理解	の対応策について し、リスクマネジ	具体的に事例を メントシステム	交えて学習する。ま を理解し、実践でき	
 授業の進	 め方・方法			 課題および小テスト(の成績を30%として	 C総合的に評価し、	60点以上を合	 格とする。	
			によって、課題提		27,7,0,12, 2, 2, 2, 2, 2, 2, 2, 2, 2, 2, 2, 2, 2			11000	
受業計	面		TOUR OF THE PROPERTY OF THE PR						
X ***	<u> </u>	週	授業内容			週ごとの到達目植	<u></u>		
後期		1週	概論			自然災害と産業安全			
		2週	事例研究①			災害統計、安全評価、			
		3週	事例研究②			失敗学と安全工学 信頼性、人間工学			
	3rdQ	4週	事例研究③			飛行機事故			
	3.49	5週	事例研究④			鉄道事故、輸送関連事故とヒューマンエラー			
		6週	安全設計①			原子力と安全(1)			
		7週	安全設計②			原子力と安全(2)、原因分析(FTA,ETなど)			
		8週	安全設計③			製品安全			
		9週	安全の実践①			法と安全確保(産業ロボット、原子炉の安全規制))			
		10週	安全の実践②			水資源とリスクマネジメント			
		11週	安全の実践③			水道とリスクマネジメント			
	4+h0	12週	安全の実践④			リスクマネジメントと技術者倫理 (1)			
	4thQ	13週	安全の実践⑤			リスクマネジメントと技術者倫理(2)			
		14週	安全の実践⑥			安全管理活動(KY, OHSAS18001)			
		15週	総括			総括			
		16週	1						
Eデル:	コアカリ	キュラム	の学習内容と発	到達目標					
分類		分野	I]標		到	達レベル 授業週	
平価割1	 合		•	•			•	•	
試験		 式験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	- その他	合計	
総合評価割合 70			30	0	0	0	0	100	
(I, '	基礎的能力 70		30	0	0	0	0	100	
	力 17								
			0	0	0	0	0	0	